

Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP

インストールおよび構成ガイド

リリース 5.0.2

2002 年 12 月

部品番号 : J07029-01

ORACLE®

Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP インストールレーションおよび構成ガイド, リリース 5.0.2

部品番号 : J07029-01

原本名 : Oracle9i Lite Installation and Configuration Guide for Windows NT/2000/XP, Release 5.0.2

原本部品番号 : B10040-01

Copyright ©1999, 2002 Oracle Corporation. All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）の使用、複製または開示は、オラクル社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権に関する法律により保護されています。

当プログラムのリバース・エンジニアリング等は禁止されております。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。オラクル社は本ドキュメントの無謬性を保証しません。

* オラクル社とは、Oracle Corporation（米国オラクル）または日本オラクル株式会社（日本オラクル）を指します。

危険な用途への使用について

オラクル社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションを用途として開発されておりません。オラクル社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、日本オラクル株式会社と開発元である Oracle Corporation（米国オラクル）およびその関連会社は一切責任を負いかねます。当プログラムを米国国防総省の米国政府機関に提供する際には、『Restricted Rights』と共に提供してください。この場合次の Notice が適用されます。

Restricted Rights Notice

Programs delivered subject to the DOD FAR Supplement are "commercial computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs, including documentation, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement. Otherwise, Programs delivered subject to the Federal Acquisition Regulations are "restricted computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs shall be subject to the restrictions in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software - Restricted Rights (June, 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその製品および会社を識別する目的のみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	iii
1 インストール	
1.1 システム要件	1-2
1.1.1 ハードウェア要件	1-2
1.1.2 ソフトウェア要件	1-3
1.2 インストール手順	1-4
1.2.1 インストール前の条件および要件	1-5
1.2.2 Oracle9i Application Server 2.0 (9iAS) での Mobile サーバーのインストール	1-8
1.2.3 Mobile サーバーのインストール	1-10
1.2.4 Mobile Development Kit のインストール	1-26
1.2.5 カスタム・インストール	1-31
1.2.6 Windows 32 用 Mobile クライアントのアンインストール	1-31
2 構成	
2.1 Mobile サーバーの構成	2-2
2.1.1 Oracle9iAS 用の Mobile サーバー・モジュールの構成	2-2
2.1.2 Apache Server 上の Apache 用 Mobile サーバー・モジュールの構成	2-4
2.1.3 スタンドアロン・モードで実行するための Mobile サーバーの構成	2-5
2.2 Mobile サーバーの実行	2-6
2.2.1 Mobile サーバー・リポジトリへの接続	2-7
2.2.2 Mobile サーバーの管理	2-7
2.2.3 Mobile サーバー・リポジトリのパスワードの変更	2-11
2.2.4 Mobile サーバーの停止	2-12

2.3	Mobile サーバーへのデモのインストール	2-16
2.4	Mobile サーバー・リポジトリの再起動の検出	2-16

3 移行

3.1	移行またはアップグレードのためのエンティティ	3-2
3.2	サポートされている移行またはアップグレード	3-2
3.3	手動による Mobile サーバー・リポジトリの移行	3-3
3.4	既存ファイル・システムへのアプリケーション・ファイルの移行	3-6
3.5	Oracle Internet Directory (OID) へのユーザーの移行	3-6
3.6	移行でのトラブルシューティング	3-7
3.6.1	CHAR がスナップショット定義で 사용되는データの移行	3-7
3.6.2	JavaServer Pages (JSP) の移行	3-8

はじめに

このマニュアルでは、Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP リリース 5.0.2 のシステム要件、インストール、移行および構成について説明します。

このマニュアルの内容は、次のとおりです。

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 第1章「インストール」 | システム要件およびインストール手順について説明します。 |
| 第2章「構成」 | Mobile サーバーの構成方法について説明します。 |
| 第3章「移行」 | 移行およびアップグレードについて説明します。 |

1

インストール

この章では、Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP リリース 5.0.2 のインストール手順について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- 1.1 項「システム要件」
- 1.2 項「インストール手順」

1.1 システム要件

次の項では、Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP リリース 5.0.2 のハードウェアおよびソフトウェアのシステム要件について説明します。

1.1.1 ハードウェア要件

次の項では、Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP リリース 5.0.2 のハードウェア要件について説明します。

1.1.1.1 Mobile サーバー

- CPU: Pentium III 360MHz
- ディスク領域: 506MB
- RAM: 256MB

1.1.1.2 Mobile Development Kit (MDK)

- CPU: Pentium III 360MHz
- ディスク領域: 244MB
- RAM: 256MB

1.1.1.3 Windows 32 および Web-to-Go 用 Mobile クライアントおよび Windows 32 用 Mobile Development Kit

- CPU: Pentium III 360MHz
- ディスク領域: 300MB
- RAM: 256MB

1.1.1.4 Palm 用 Mobile クライアント

- CPU: 68328 および 68328Z
- ディスク領域: なし
- RAM: 2MB

1.1.1.5 Windows CE/PocketPC 用 Mobile クライアント

- CPU: SH3、MIPS、SH4、ARM または x86
- ディスク領域: なし
- RAM: 8MB

1.1.1.6 EPOC 用 Mobile クライアント

- CPU: 133MHz
- ディスク領域: 300MB の空き領域 (C++ SDK 用)
- RAM: 64MB

1.1.2 ソフトウェア要件

次の項では、Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP リリース 5.0.2 のソフトウェア要件について説明します。

1.1.2.1 Mobile サーバー

- オペレーティング・システム: Windows NT Server 4.0 SP6a、Windows 2000 および Windows XP
- JDK 1.3.1

1.1.2.2 Windows 32 および Web-to-Go 用 Mobile クライアントおよび Windows 32 用 Mobile Development Kit

- オペレーティング・システム: Windows NT 4.0 SP6a、Windows 2000、Windows XP または Windows 98
- JDK 1.3.1

1.1.2.3 Palm 用 Mobile クライアント

- オペレーティング・システム: Palm OS 3.5、Palm OS 4.0
- KADA JVM

1.1.2.4 Windows CE/PocketPC 用 Mobile クライアント

- オペレーティング・システム: Windows CE 2.1.1、3.0 または 3.0.1
- JDK: JDK 1.1.8 以上、パーソナル Java または Insignia 社の Jeode VM
- Active Sync 3.5 以上

1.1.2.5 EPOC 用 Mobile クライアント

- オペレーティング・システム: EPOC リリース 5
- JDK: 1.1.4 以上 (1.1.8 を推奨)
- その他: Microsoft Visual C++ 5.0 または 6.0 (推奨)

1.1.2.6 Branch Office

- オペレーティング・システム：Windows NT 4.0 SP6a、Windows 2000、Windows XP または Windows 98

1.1.2.7 必要なコンポーネント

- Oracle9i Application Server (Oracle9iAS) のリリース 2 または 1.0.2、あるいは Apache HTTP Server 1.3.9
- Oracle9i または Oracle8i リリース 8.1.7 以上の、Standard Edition または Enterprise Edition

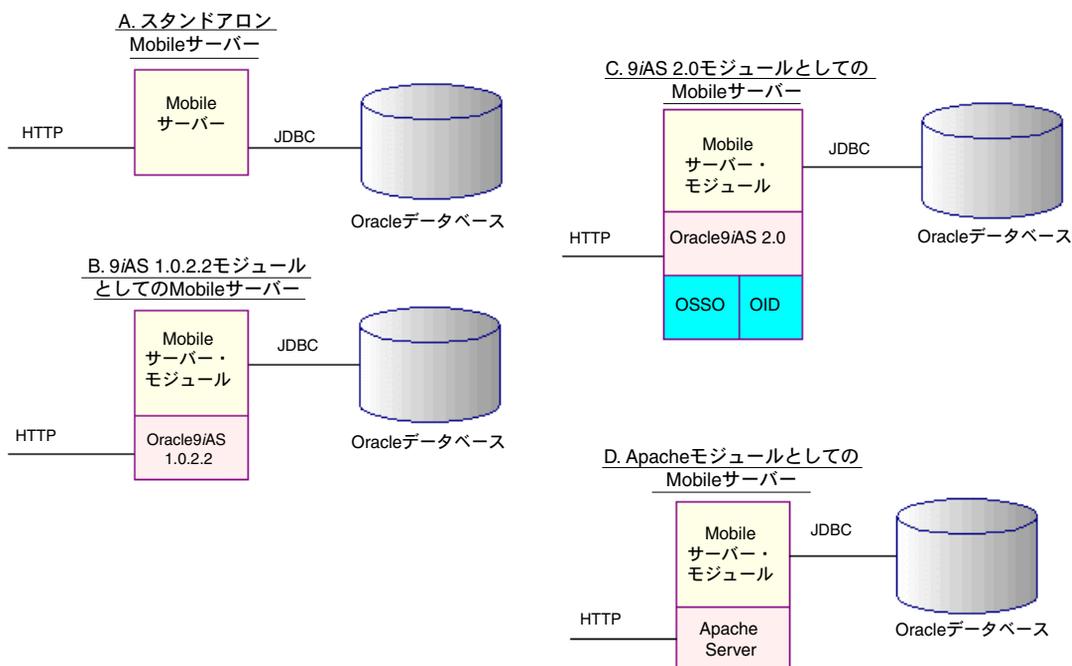
1.2 インストール手順

次の項では、インストール前の条件と要件、および Mobile サーバーと Mobile Development Kit のインストール手順について説明します。Mobile サーバーおよび Mobile Development Kit をインストールするには、次の手順を実行します。

コンポーネントのインストール方法およびインストール場所にかかわらず、インストール前にすべてのアプリケーションを終了します。インストールの終了後、システムを再起動します。

[図 1-1](#) では、Oracle9i Lite for Windows NT/2000/XP リリース 5.0.2 で使用可能な 4 つの Mobile サーバー・インストール・オプションを説明します。

図 1-1 インストール・オプション



1.2.1 インストール前の条件および要件

製品をインストールする前に、次のバージョンを確認します。

1. ご使用の Oracle データベースのバージョン
2. ご使用の Oracle9i Application Server (Oracle9iAS) のバージョン

次の項では、特定の状況でのインストール要件について説明します。状況によって、インストールが正常に終了するかどうかが決まります。

1.2.1.1 CLASSPATH からの classes1x.jar ファイルの削除

Oracle9i Lite をインストールする前に、CLASSPATH から Oracle JAR ファイル **classes1x.jar** を削除します。インストールの完了後、CLASSPATH をリストアできます。

1.2.1.2 Oracle9iAS 用の Mobile サーバー・モジュールの使用

Oracle9iAS 用の Mobile サーバー・モジュールには、Net9i ライブラリが必要です。これらのライブラリは Oracle9i Lite の CD-ROM に含まれており、Mobile サーバーのインストール時

に、自動的にインストールされます。Mobile サーバー・モジュールとその他のモジュールが同時に実行されるように Oracle9iAS を構成することができます。ただし、これらのモジュールは、Mobile サーバーと同じバージョンの Net9i ライブラリを使用する必要があります。

異なる <ORACLE_HOME> ディレクトリに Oracle9iAS および Mobile サーバーをインストールする場合に、この制限が適用されます。

マシンに Oracle9iAS リリース 2 以上がインストールされている場合、すでに Oracle9iAS がインストールされている <ORACLE_HOME> ディレクトリに Mobile サーバーをインストールすることをお勧めします。これにより、マシンにインストールされている Required Support Files のコピーが重複するのを回避できます。

異なる <ORACLE_HOME> ディレクトリに Mobile サーバーをインストールする場合、Oracle9iAS がインストールされている <ORACLE_HOME>%network%admin ディレクトリに格納されている **tnsnames.ora** ファイルを編集し、次の WEBTOGO.WORLD 用のエントリをファイルに追加する必要があります (<> 内のテキストは変数です。実際の値に置き換えてください)。

```
WEBTOGO.WORLD =
  (DESCRIPTION =
    (ADDRESS_LIST =
      (ADDRESS = (PROTOCOL = TCP)
                  (HOST = <Mobile サーバー・リポジトリ・データベースのホスト名 >)
                  (PORT = <Mobile サーバー・リポジトリ・データベースのホストのポート番号 >))
    )
    (CONNECT_DATA =
      (SERVICE_NAME = <Mobile サーバー・リポジトリ・データベースのサービス名 >)
    )
  )
```

Oracle9iAS がインストールされている <ORACLE_HOME> ディレクトリに格納されている **tnsnames.ora** ファイルに前述のエントリを作成しない場合、後で Oracle9iAS から Mobile サーバーを実行しようとする、Oracle9iAS が **tnsnames.ora** ファイルの WEBTOGO.WORLD エントリを見つけられず、その結果 Mobile サーバーの実行に失敗します。

Oracle9iAS 1.0.2.x がインストールされている場合は、Oracle9iAS 1.0.2.x がインストールされている <Oracle_Home> とは別の <Oracle_Home> に Mobile サーバーをインストールすることをお勧めします。これは、Oracle9iAS 1.0.2.x が Net8i ライブラリを使用するためです。前述の手順に従って、Oracle9iAS 1.0.2.x がインストールされている <Oracle_Home> の **tnsnames.ora** ファイルを編集してください。

Oracle9iAS 1.0.2.x と同一の <Oracle_Home> に Mobile サーバーをインストールする場合は、カスタム・インストール・オプションを選択します。カスタム・インストール・オプションを選択すると、Net8i ライブラリとともに Mobile サーバーをインストールできます。

1.2.1.3 同一マシンへの Mobile サーバーおよび Oracle データベースのインストール

Mobile サーバーでは、Oracle データベースを事前にインストールしておく必要があります。次の条件が満たされる場合、同一のマシンに Mobile サーバーおよび Oracle データベースをインストールできます。

1. Mobile サーバーをインストールする前に、Oracle データベースをインストールする必要があります。
2. Oracle9i データベースを使用している場合、Mobile サーバーおよび Oracle データベースは同一の <ORACLE_HOME> を共有できます。
3. Oracle8i リリース 8.1.7 データベースを使用している場合、Net8 ライブラリのバージョンが異なるため、Mobile サーバーおよび Oracle データベースは、それぞれ異なる <ORACLE_HOME> にインストールする必要があります。

1.2.1.4 Oracle データベースのクライアント・ソフトウェアと Mobile サーバーのインストール

1. Oracle データベースの Oracle9i クライアント・ソフトウェアがすでにインストールされている場合、Oracle データベースのクライアント・ソフトウェアがインストールされている <ORACLE_HOME> ディレクトリに Mobile サーバーをインストールすることをお勧めします。これにより、マシンにインストールされている Required Support Files のコピーが重複するのを回避できます。
2. Oracle8i リリース 8.1.7 データベースを使用している場合、Net8 ライブラリのバージョンが異なるため、Mobile サーバーおよび Oracle データベースは、それぞれ異なる <ORACLE_HOME> にインストールする必要があります。

Oracle9i リリース 2 (9.2) を使用している場合、インストーラは **tnsnames.ora** に **webtogo.world** エントリを作成できません。**tnsnames.ora** に **webtogo.world** エントリを手動で作成し、<Oracle_Home>%mobile%server%admin ディレクトリからリポジトリ・ウィザード (repwizard) を実行することをお勧めします。

手動で **webtogo.world** エントリを作成するには、**tnsnames.ora** に次の行を追加します。

```
WEBTOGO.WORLD =
  (DESCRIPTION =
    (ADDRESS_LIST =
      (ADDRESS = (PROTOCOL = TCP)
        (HOST = <Mobile サーバー・リポジトリ・データベースのホスト名 >)
        (PORT = <Mobile サーバー・リポジトリ・データベースのホストのポート番号 >))
    )
    (CONNECT_DATA =
      (SERVICE_NAME = <Mobile サーバー・リポジトリ・データベースのサービス名 >)
    )
  )
```

1.2.1.5 Oracle9i Application Server 2.0 または Oracle9i リリース 2 (9.2) での Oracle9i Lite のインストール

Oracle9iAS リリース 2 または Oracle9i リリース 2 (9.2) と同一の <Oracle_Home> に Oracle9i Lite 5.0.2 をインストールすると、netca の構成に失敗します。異なる <Oracle_Home> に Oracle9i Lite 5.0.2 をインストールしてください。

1.2.2 Oracle9i Application Server 2.0 (9iAS) での Mobile サーバーのインストール

Oracle9i Application Server (Oracle9iAS) リリース 2 で使用するために Oracle9i Lite をインストールする場合、最初に Oracle9iAS をインストールします。その後、次のテストを実行して、Oracle9iAS のインストールが Oracle9i Lite とともに動作するように構成されていることを確認します。

注意： Oracle9iAS リリース 1.0.2.2.x を使用している場合、この手順は必要ありません。

1.2.2.1 Mobile サーバーのインストール前の Oracle9iAS インストールのテスト

Mobile サーバーは、Oracle Single Sign On (OSSO) サーバーおよび mod_osso Apache モジュールに依存して、Oracle Internet Directory (OID) からユーザーを認証します。Mobile サーバーをインストールする前に、これらのすべての Oracle9iAS コンポーネントが適切にインストールおよび構成されていることを確認します。

次の手順で Apache リソースを保護してからリソースにアクセスし、これらのコンポーネントが適切にインストールされていることを確認します。

1. 保護付きの Apache リソースを挿入します。htdocs ディレクトリに、private という名前のディレクトリ (<ApacheServerRoot>/htdocs/private など) を作成します。そのディレクトリにいくつかの HTML ページをコピーします。内容がないダミーのページでもかまいません。
2. <Oracle9iAS_DIR>/conf/mod_osso.conf にある mod_osso.conf ファイルをオープンして、ファイルの末尾に次のテキストを追加します。

```
<Location /private>
    require valid-user
    AuthType Basic
</Location>
```

mod_osso.conf ファイルは次のようになります。

```
LoadModule osso_module libexec/mod_osso.so
```

```
<IfModule mod_osso.c>
    OsoIpCheck on
```

```
OssIdleTimeout off
OssConfigFile
<ORACLE_HOME>/Apache/Apache/conf/osso/osso.conf

    <Location /private>
        require valid-user
        AuthType Basic
    </Location>
</IfModule>
```

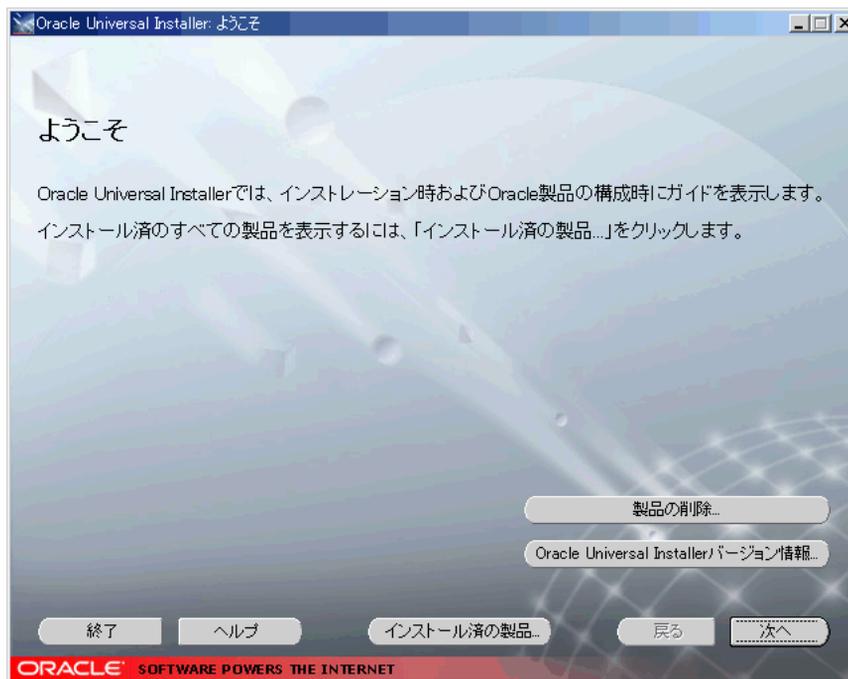
3. Oracle9iAS インスタンスを再起動します。
4. ブラウザを起動して、`http://<server>:<port>/private` を入力します。<server> はご使用の Oracle9iAS インスタンスで、<port> はポート番号です。
5. 画面に OSSO ログが表示されます。Oracle9iAS の管理者のユーザー名とパスワードを入力して、ログオンします。デフォルトのユーザー名は、「orcladmin」です。ユーザー名とパスワードは、ユーザーが Oracle9iAS のインストール中に指定します。
6. ログオンして、/private にある html ページのリストが表示されたら、Mobile サーバーが使用するすべての Oracle9iAS コンポーネントは、適切にインストールおよび構成されています。これで、[1.2.3 項「Mobile サーバーのインストール」](#) で説明する手順で Mobile サーバーをインストールできます。

1.2.3 Mobile サーバーのインストール

次の手順で、Mobile サーバーをインストールします。

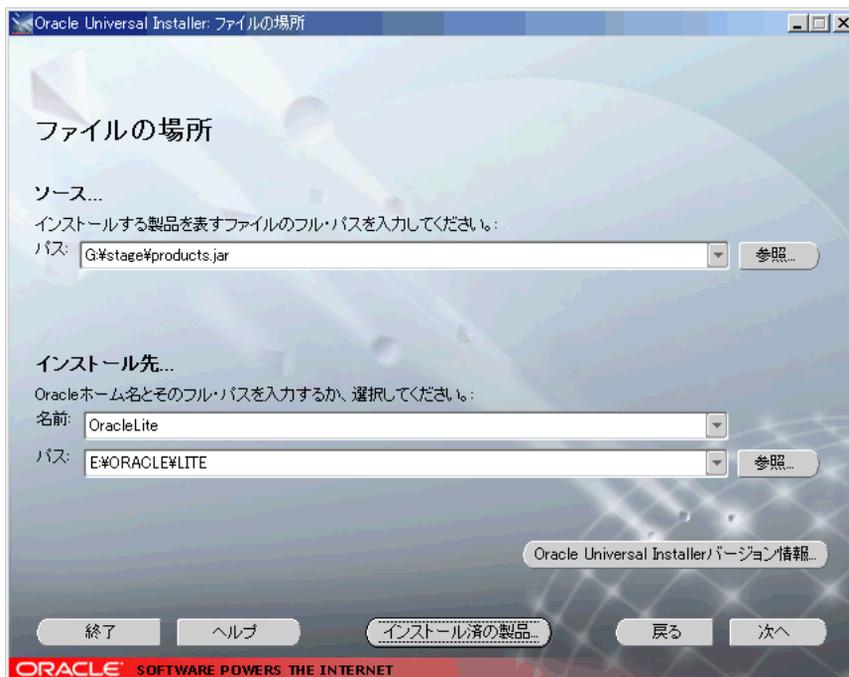
1. ご使用の CD-ROM ドライブに Oracle9i Lite の CD-ROM を挿入します。インストール・プログラム (setup.exe) が自動的に起動します。図 1-2 に示す「ようこそ」ウィンドウが表示されます。システムにインストールされている Oracle 製品を確認するには、「インストール済の製品」をクリックします。続行するには、「次へ」をクリックします。

図 1-2 「ようこそ」ウィンドウ



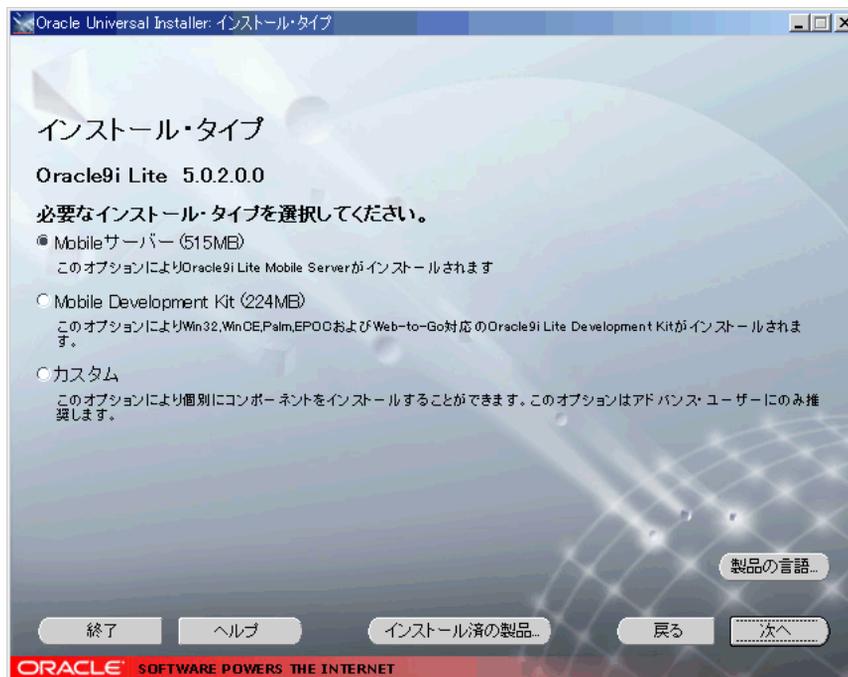
2. 図 1-3 に示す「ファイルの場所」ウィンドウが表示されます。「インストール先」の下にある「名前」フィールドに <Oracle_Home> ディレクトリ（Oracle9i Lite がインストールされているディレクトリ）の名前を入力してから、該当する <Oracle_Home> ディレクトリの場所を「パス」フィールドに入力するか、デフォルトを受け入れます。「次へ」をクリックします。

図 1-3 「ファイルの場所」ウィンドウ



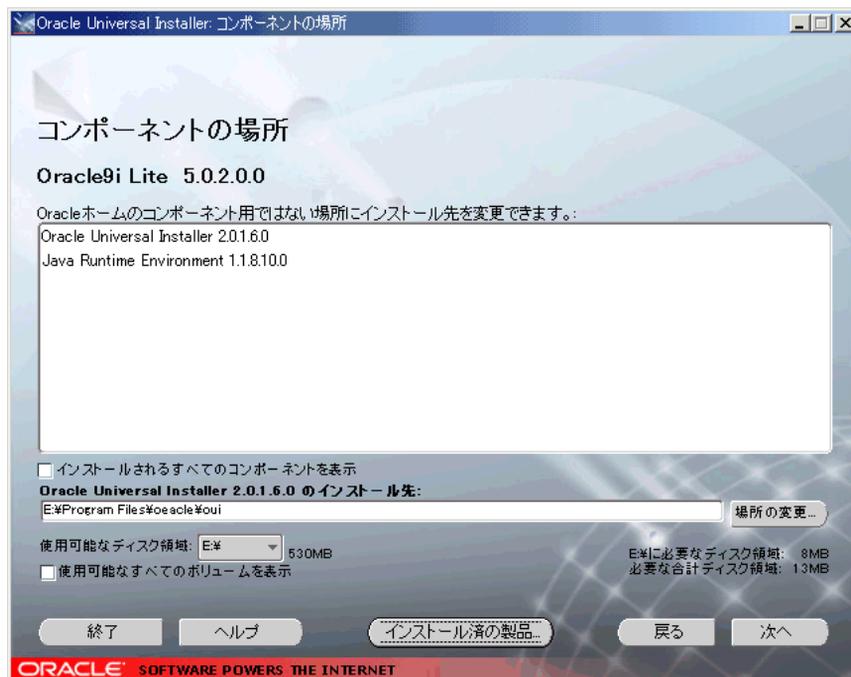
3. 図 1-4 に示す「インストール・タイプ」ウィンドウが表示されます。「Mobile サーバー」オプションを選択し、「次へ」をクリックします。

図 1-4 「インストール・タイプ」ウィンドウ



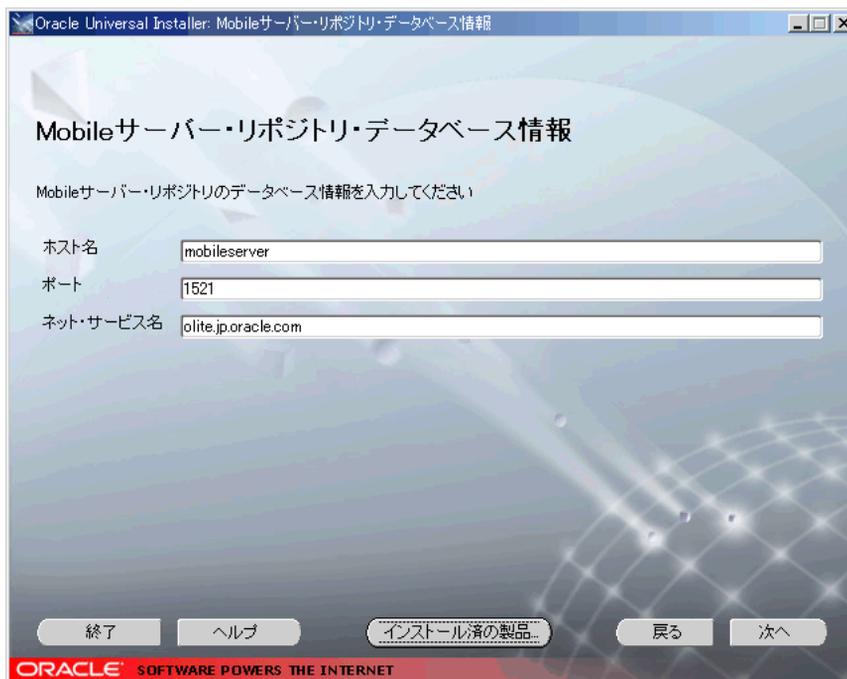
4. 図 1-5 に示す「コンポーネントの場所」ウィンドウに、インストールに必要な <Oracle_Home> 以外のコンポーネントが表示されます。デフォルトを受け入れるか、または <Oracle_Home> 以外のコンポーネントのインストール先を変更する（初めて Oracle9i Lite リリース 5.0.2 をインストールする場合）ことができます。「次へ」をクリックします。

図 1-5 「コンポーネントの場所」ウィンドウ



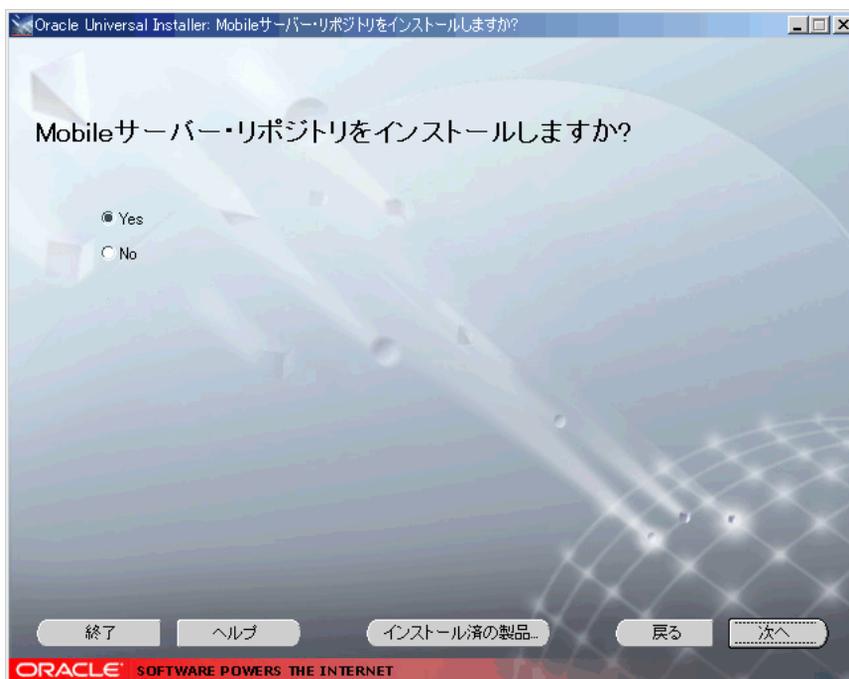
- 図 1-6 に示す「Mobile サーバー・リポジトリ・データベース情報」ウィンドウが表示されます。Mobile サーバー・リポジトリとして使用する既存の Oracle データベース (Oracle9i または Oracle8i リリース 8.1.7 以上) に関する情報を、「ホスト名」、「ポート」および「ネット・サービス名」フィールドに入力します。デフォルトのポート番号は 1521 です。「ネット・サービス名」はグローバル・データベース名であり、SID ではありません。この情報が不明な場合は、システム管理者に連絡してください。必要な情報を入力した後、「次へ」をクリックします。

図 1-6 「Mobile サーバー・リポジトリ・データベース情報」ウィンドウ



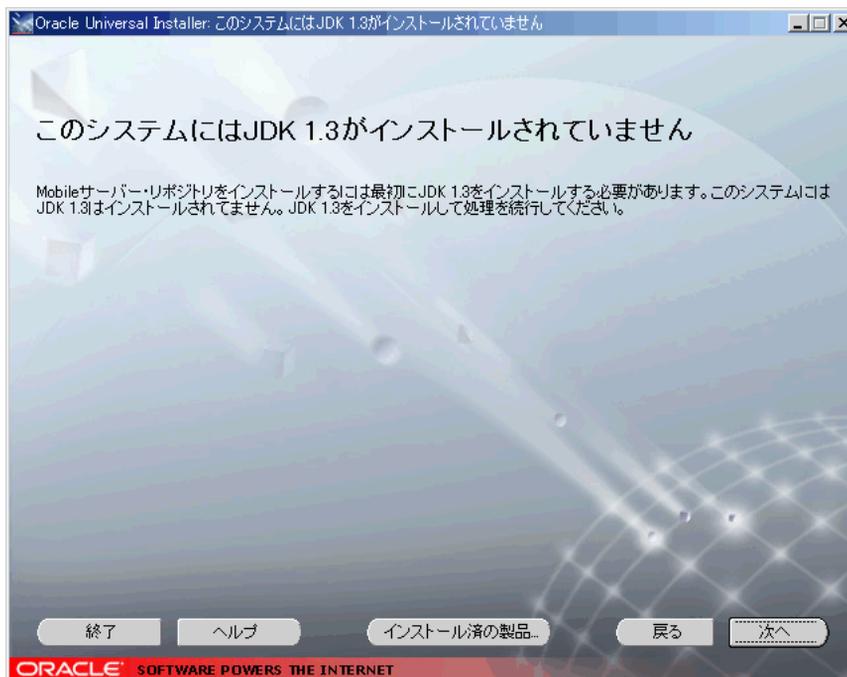
6. 図 1-7 に示す「Mobile サーバー・リポジトリをインストールしますか？」ウィンドウが表示されます。「Yes」を選択し、「次へ」をクリックします。

図 1-7 「Mobile サーバー・リポジトリをインストールしますか？」ウィンドウ



7. システムに JDK 1.3 がインストールされていない場合、[図 1-8](#) に示す「このシステムには JDK 1.3 がインストールされていません」ウィンドウが表示されます。Oracle9i Lite リリース 5.0.2 のインストールを続行する前に、ご使用のシステムに JDK 1.3 をインストールする必要があります。

図 1-8 「このシステムには JDK 1.3 がインストールされていません」ウィンドウ



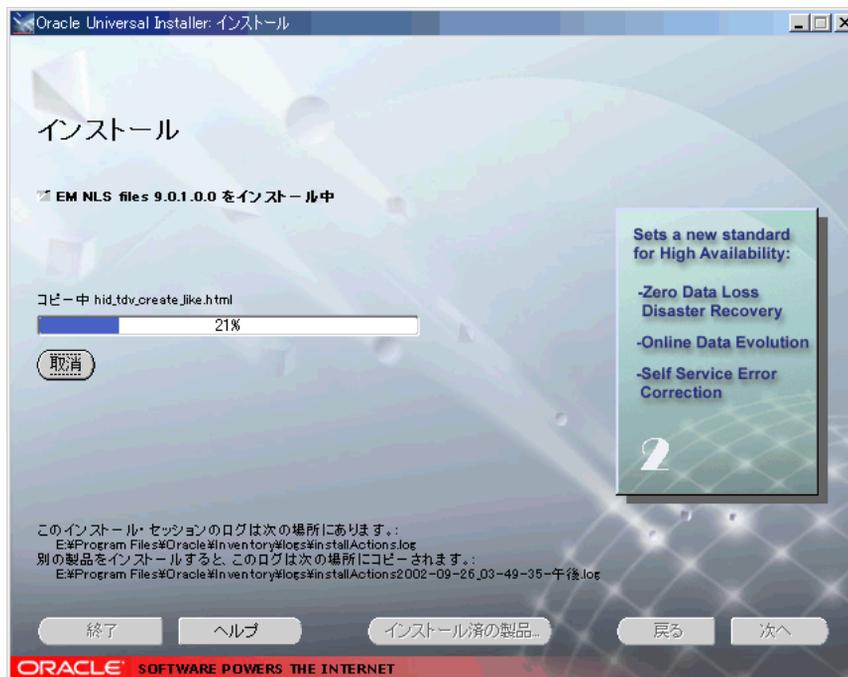
8. システムに JDK 1.3 がインストールされている場合、[図 1-9](#) に示す「サマリー」ウィンドウが表示され、システム上の Mobile サーバーのグローバル設定および領域要件が示されます。「必要な領域」で、Mobile サーバーのインストールに必要な領域が、インストール先のマシン上で実際に使用可能であることを確認します。「インストール」をクリックします。

図 1-9 「サマリー」ウィンドウ



9. 図 1-10 に示す「インストール」ウィンドウが表示され、インストールの進捗状況が表示されます。操作は必要ありません。インストールは自動的に行われます。

図 1-10 「インストール」ウィンドウ



10. Mobile サーバーおよびすべてのサポート・ファイルのインストールの完了後、[図 1-11](#) に示す「Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザード」ダイアログ・ボックスが表示されます。マシンによっては、「Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザード」ダイアログ・ボックスがこの時点で最小化されて表示される場合があります。その場合はタスク・バーからアクセスします。Oracle データベース・サーバーのユーザー **SYSTEM** のパスワードを入力します。ユーザー **SYSTEM** のパスワードが不明な場合は、システム管理者に連絡してください。「次へ」をクリックします。

図 1-11 「Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザード」ウィンドウ



11. 図 1-12 に示す Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードに、既存のリポジトリが見つからず、新規のリポジトリがインストールされることが表示されます。「次へ」をクリックします。Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードでは、データベースに対し、以前にインストールされた Mobile サーバー・リポジトリのバージョンに関する問合せが行われます。以前のバージョンの Mobile サーバー・リポジトリがインストールされている場合は、最新のバージョンに移行されます。以前のバージョンが見つからない場合は、新規の Mobile サーバー・リポジトリがインストールされます。Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードを使用した手動によるリポジトリの移行については、第 3 章「移行」の 3.3 項「手動による Mobile サーバー・リポジトリの移行」を参照してください。

図 1-12 「既存のリポジトリは見つかりませんでした」ウィンドウ



12. 図 1-13 に示すウィンドウが表示され、Mobile サーバー・リポジトリのパスワードの入力が求められます。Mobile サーバー・リポジトリの情報を「スキーマ名」および「パスワード」フィールドに入力します。Oracle データベース内の既存のスキーマの名前を使用するか、新しいスキーマ名およびパスワードを入力できます。Oracle9i Lite がスキーマを作成します。「パスワードの確認入力」フィールドに、パスワードを再度入力します。たとえば、「スキーマ名」に MOBILEADMIN、「パスワード」に manager を入力します。「次へ」をクリックします。

図 1-13 パスワード・ウィンドウ

Mobileサーバー・リポジトリ・ウィザード

Mobileサーバー・リポジトリのパスワードを入力してください

スキーマ名: MOBILEADMIN

パスワード:

パスワードの確認入力:

取消 ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > 終了(E)

13. 図 1-14 に示す「要約」ウィンドウが表示され、スキーマ名、既存のリポジトリが見つからなかったこと、および Mobile サーバー・リポジトリがインストールされることが示されます。「次へ」をクリックします。

図 1-14 リポジトリ・ウィザードの「要約」ウィンドウ



14. この手順では、Mobile サーバー・リポジトリのインストール処理が行われます。図 1-15 に示す進捗状況が表示され、各手順のインストール処理に対して、完了または処理中というステータスが表示されます。Mobile サーバー・リポジトリのインストールが完了すると、「次へ」ボタンがアクティブになります。「次へ」をクリックします。

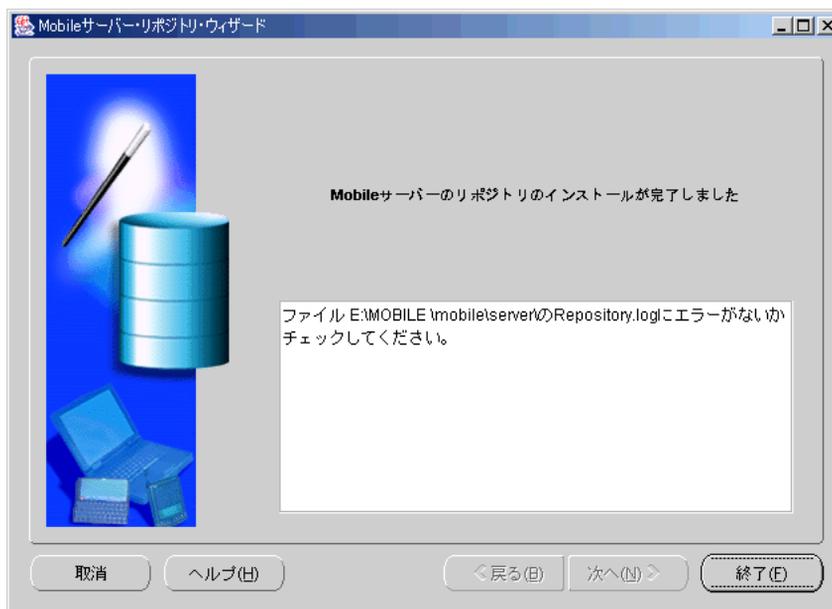
図 1-15 Mobile サーバー・リポジトリのインストールの進捗ウィンドウ



15. 「Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザード」に Mobile サーバー・リポジトリのインストールが完了したことが示されます。図 1-16 に示すとおり、ウィザードに **Repository.log** ファイルのパスが表示されます。このログ・ファイルでエラーがないかを確認してください。「終了」をクリックして Mobile サーバー・リポジトリのインストールを終了し、Mobile サーバーのインストール処理に戻ります。

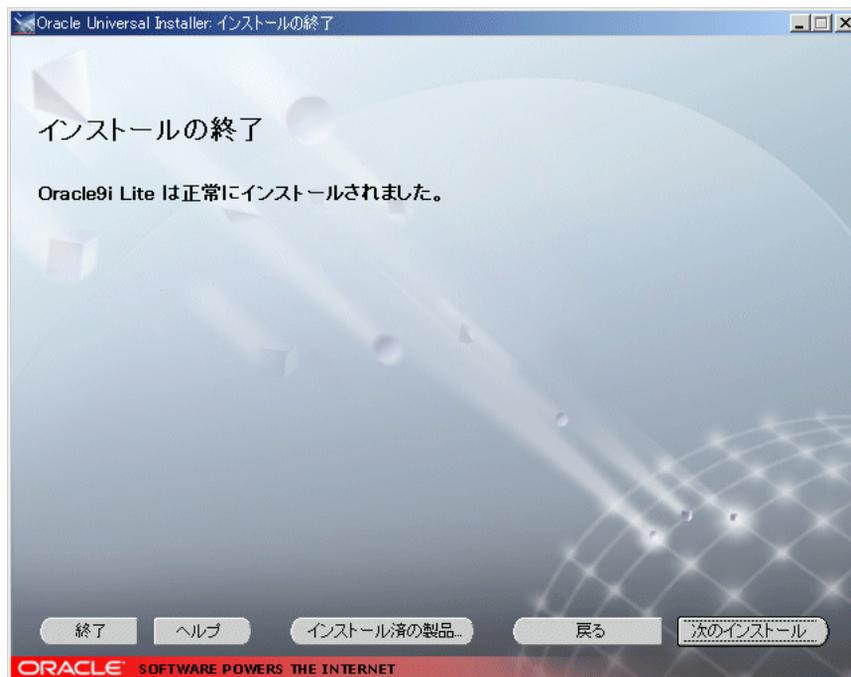
このウィンドウは、他のウィンドウの後ろに隠れている場合があります。他のウィンドウを無視して、閉じてください。「Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザード」ウィンドウをアクティブにし、「終了」をクリックします。

図 1-16 リポジトリのインストールの完了ウィンドウ



16. 図 1-17 に示す Mobile サーバー・インストール用の「インストールの終了」ウィンドウが表示され、「Oracle9i Lite は正常にインストールされました。」というメッセージが表示されます。「次のインストール」をクリックして Mobile Development Kit をインストールするか、「終了」をクリックしてインストール処理を終了します。

図 1-17 「インストールの終了」ウィンドウ



1.2.4 Mobile Development Kit のインストール

次の手順で、Mobile Development Kit をインストールします。

1. Mobile サーバーのインストール後に「次のインストール」ボタンをクリックする場合、[図 1-18](#) に示す「ファイルの場所」ウィンドウが表示され、次のインストールを行う場所を指定できます。

図 1-18 Mobile Development Kit の「ファイルの場所」ウィンドウ



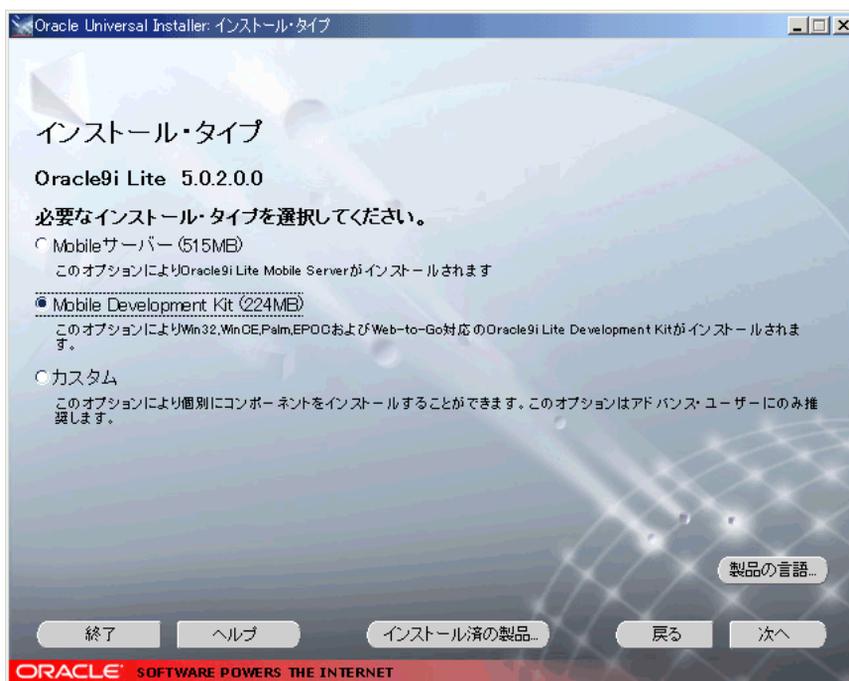
「インストール先」の下にある「名前」フィールドに <ORACLE_HOME> ディレクトリ (Oracle9i Lite がインストールされているディレクトリ) の名前を入力してから、該当する <ORACLE_HOME> ディレクトリの場所を「パス」フィールドに入力するか、デフォルトを受け入れます。<ORACLE_HOME> ディレクトリ名は 8 文字以内で指定する必要があります。

ご使用のマシンに Oracle データベース、または Oracle Universal Installer を使用するその他の Oracle 製品がインストールされている場合、「インストール先」の下にある「名前」フィールドで、<ORACLE_HOME> 名として DEFAULT_HOME を受け入れるか、または入力できます。次に、Oracle9i Lite をインストールする場所を「パス」フィールドに入力します。

「次へ」をクリックします。

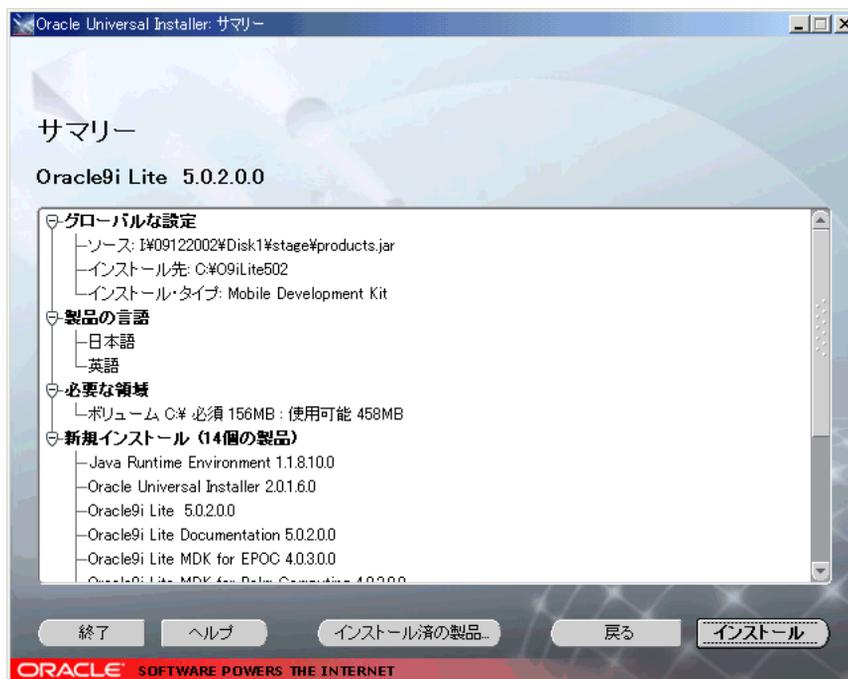
2.  図 1-19 に示す「インストール・タイプ」ウィンドウが表示されます。「Mobile Development Kit」を選択します。「次へ」をクリックします。

図 1-19 「インストール・タイプ」ウィンドウ



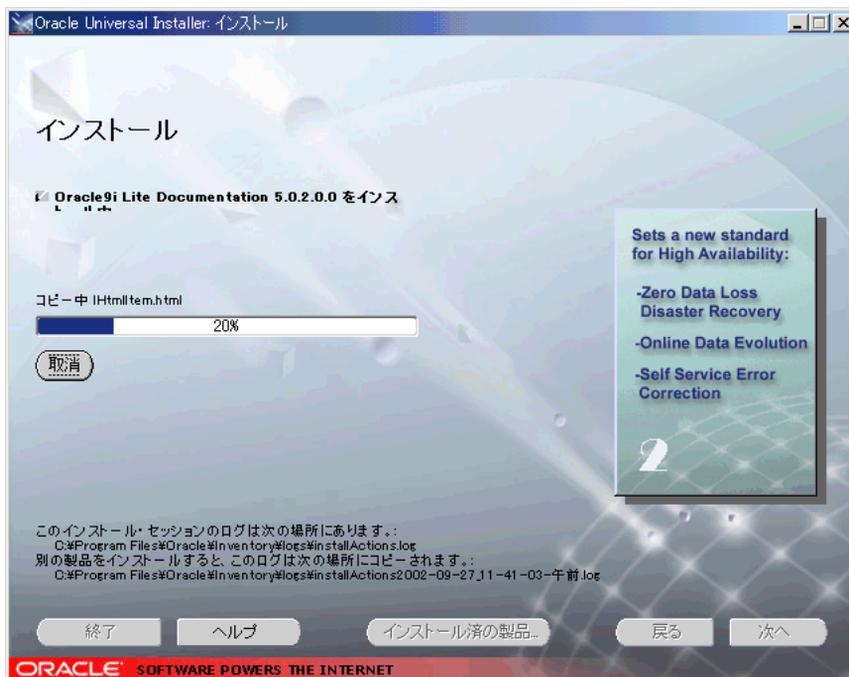
3. 図 1-20 に示す「サマリー」ウィンドウが表示され、システム上の Mobile Development Kit の「グローバルな設定」および「必要な領域」が表示されます。「必要な領域」で、Mobile Development Kit のインストールに必要な領域が、インストール先のマシン上で実際に使用可能であることを確認します。「インストール」をクリックします。

図 1-20 「サマリー」ウィンドウ



4. 図 1-21 に示す「インストール」ウィンドウが表示され、インストールの進捗状況が表示されます。操作は必要ありません。自動的に Mobile Development Kit がインストールされます。

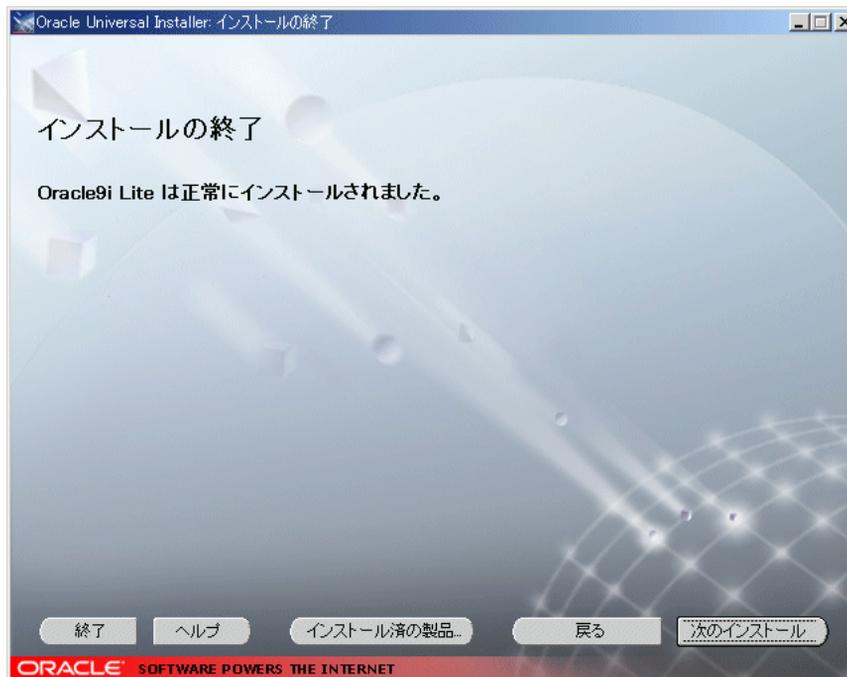
図 1-21 「インストール」ウィンドウ



5. Mobile Development Kit のインストールの完了後、[図 1-22](#) に示す「インストールの終了」ウィンドウが自動的に表示され、「Oracle9i Lite は正常にインストールされました。」というメッセージが表示されます。

「終了」をクリックしてインストール処理を終了します。

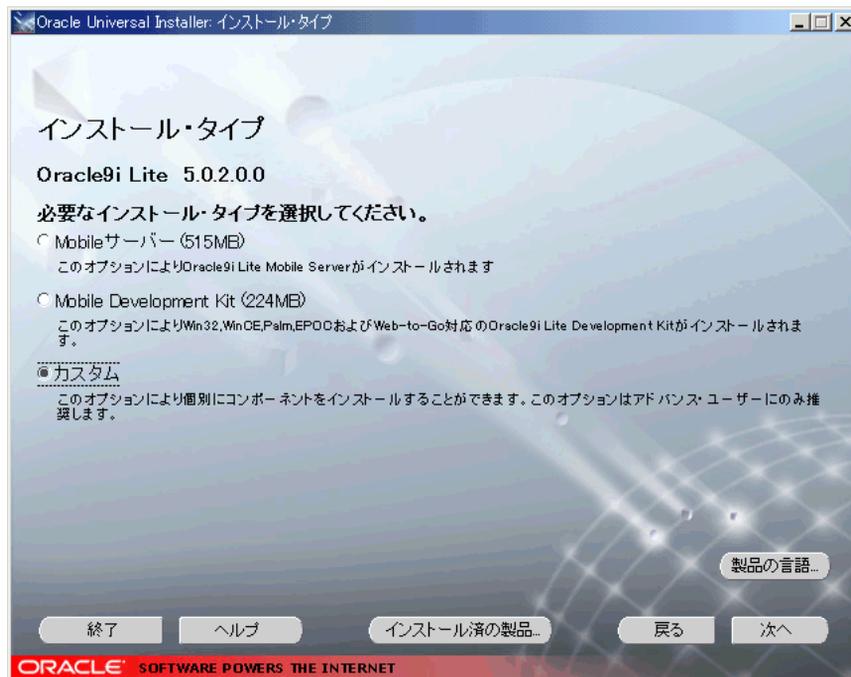
図 1-22 「インストールの終了」ウィンドウ



1.2.5 カスタム・インストール

図 1-23 に示す「インストール・タイプ」ウィンドウで表示されるカスタム・インストール・オプションで、Windows 32 用 Mobile Development Kit などの各コンポーネントをインストールできます。このオプションは、上級ユーザーのみが使用することをお勧めします。

図 1-23 カスタム・インストール・オプション



1.2.6 Windows 32 用 Mobile クライアントのアンインストール

Windows 32 用 Mobile クライアントのアンインストール・ユーティリティ (`uninst.exe`) では、Oracle Lite データベース・ファイル (`*.odb`) を削除できません。手動で Oracle Lite データベース・ファイルを削除します。

2

構成

この章では、Mobile サーバーへのデモのインストール、Mobile サーバー・リポジトリの再起動の検出、および Mobile サーバーの構成と実行方法について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 2.1 項「Mobile サーバーの構成」
- 2.2 項「Mobile サーバーの実行」
- 2.3 項「Mobile サーバーへのデモのインストール」
- 2.4 項「Mobile サーバー・リポジトリの再起動の検出」

2.1 Mobile サーバーの構成

この項では、Mobile サーバーの構成について説明します。Mobile サーバーは、インストールだけでは実行できません。Mobile サーバーを実行するには、フレームワークとして Web サーバーを構成する必要があります。Mobile サーバーは、次の構成で実行できます。

- Oracle9i Application Server (Oracle9iAS) 上の Oracle9i Application Server 用の Mobile サーバー・モジュール
- Apache Server 上の Apache 用 Mobile サーバー・モジュール
- スタンドアロンの Mobile サーバー

ここでは、これらの構成の詳細な設定方法について説明します。構成が完了した後、[2.2 項「Mobile サーバーの実行」](#)の説明に従って Mobile サーバーを起動してください。

2.1.1 Oracle9iAS 用の Mobile サーバー・モジュールの構成

Oracle9iAS 上で Mobile サーバーをモジュールとして実行できます。そのためには、Oracle9iAS をインストールおよび構成する必要があります。Oracle9iAS リリース 1.0.2.2.0 上に Mobile サーバーをインストールする場合は、手順 2～4 をスキップして、手順 1 および手順 5 を実行する必要があります。Mobile サーバーのインスタンスを Oracle9iAS リリース 2 以上で実行するように構成するには、手順を 1～5 を実行する必要があります。

1. Oracle9iAS の構成ファイルを変更して、Oracle9i Application Server 用の Mobile サーバー・モジュールを Oracle9iAS に追加します。構成ファイルは、デフォルトでは次の場所にあります。

```
<Oracle9iAS_DIR>%Apache%Apache%conf%httpd.conf
```

<Oracle9iAS_DIR> とは、Oracle9iAS をインストールしたディレクトリです。

たとえば、Oracle9iAS を次の場所にインストールしたとします。

```
%Program Files%Oracle9iAS
```

この場合、構成ファイルのフルパスは次のようになります。

```
%Program Files%Oracle9iAS%Apache%Apache%conf%httpd.conf
```

Oracle9iAS の構成ファイルの末尾に次の行を追加して、Oracle9i Application Server 用の Mobile サーバー・モジュールを追加します。

```
include "<ORACLE_HOME>%mobile%server%bin%wtgias.conf"
```

これは、wtgias.conf ファイルを指します。これは、Oracle9iAS 内にある Oracle9i Application Server 用の Mobile サーバー・モジュールのロードに使用する構成ファイルです。

2. <ORACLE_HOME>%opmn%conf%opmn.xml ファイルをオープンして、環境変数 (LD_LIBRARY_PATH、CLASSPATH など) を追加します。次に例を示します。

```
<ohs gid="HTTP Server" maxRetry="3">
  <start-mode mode="ssl"%>
    <environment>
      <prop name="LD_LIBRARY_PATH"
value="%<ORACLE_HOME>%jdk%re%lib%sparc%client:%<ORACLE_HOME>%lib"%>
      <prop name="CLASSPATH"
value="%<ORACLE_HOME>%jdbc%lib%nls_charset12.zip:%
      <ORACLE_HOME>%jlib%jndi.jar"%>

    <%environment>
<%ohs>
```

3. <ORACLE_HOME>%config%jazzn-data.xml ファイルをオープンして、webtogo.jar を検索します。次の行の Mobile%Server を mobile%server と置き換えて、先行文字を小文字にします。

次に例を示します。

```
<url>file:%private%<user_name>%<ORACLE_HOME>%Mobile%Server%bin%webtogo.jar<%url>
```

前述の行を、次のように編集します。

```
<url>file:%private%<user_name>%<ORACLE_HOME>%mobile%server%bin%webtogo.jar<%url>
```

4. <ORACLE_HOME>%Apache%Apache%conf%mod_osso.conf ファイルをオープンして、次の行を追加します。

```
<Location %webtogo%WLTop>
  require valid-user
  AuthType Basic
<%Location>
```

mod.osso.conf ファイルは、次のようになります。

```
LoadModule osso_module libexec%mod_osso.so
```

```
<IfModule mod_osso.c>
  OsoIpCheck on
  OsoIdleTimeout off
  OsoConfigFile
%<ORACLE_HOME>%Apache%Apache%conf%osso%osso.conf
#

# Insert Protected Resources: (see Notes below for how to protect
resources)
#
```

```
#-----  
#  
  
# Notes  
#  
  
#-----  
#  
  
# 1. Here's what you need to add to protect a resource,  
# e.g. <ApacheServerRoot>%htdocs%private:  
  
    <Location %webtogo%WLTtop>  
    require valid-user  
    AuthType Basic  
    <%Location>  
  
    <Location %private>  
    require valid-user  
    AuthType Basic  
    <%Location>  
<%IfModule>
```

5. コマンドラインに次のコマンドを入力して、Oracle9iAS を起動します。

```
apache -k start
```

Oracle9iAS がすでに実行中の場合は、コマンドラインで次のコマンドを入力して再起動します。

```
apache -k restart
```

2.1.2 Apache Server 上の Apache 用 Mobile サーバー・モジュールの構成

Apache Server 上で Mobile サーバーをモジュールとして実行できます。それにはまず、Apache Server をインストールおよび構成する必要があります。

2.1.2.1 Apache 構成ファイル

Apache 構成ファイルを変更して Apache 用 Mobile サーバー・モジュールを追加します。Apache 構成ファイルは、デフォルトでは次の場所にあります。

```
<APACHE_DIR>%conf%httpd.conf
```

<APACHE_DIR> とは、Apache Server をインストールしたディレクトリです。

たとえば、Apache Server を次の場所にインストールしたとします。

```
C:\Program Files\Apache Group\Apache
```

この場合、構成ファイルのフルパスは次のようになります。

```
C:\Program Files\Apache Group\Apache\conf\httpd.conf
```

2.1.2.2 Apache 用 Mobile サーバー・モジュールのロード

次の手順で、Apache Server に Apache 用 Mobile サーバー・モジュールを構成します。

1. Apache 構成ファイルに次の行を追加して、Apache 用 Mobile サーバー・モジュールを Apache Server に追加します。

```
include "Oracle_Home\mobile\server\bin\wtgapach.conf"
```

これは、**wtgapach.conf** ファイルを指します。これは、Apache 内にある Mobile サーバー・モジュール用の構成ファイルです。

2. コマンドラインで次のコマンドを入力し、Apache Server を起動します。

```
apache -k start
```

Apache Server がすでに実行中の場合は、コマンドラインで次のコマンドを入力して再起動します。

```
apache -k restart
```

3. Mobile サーバーを起動します。

2.1.3 スタンドアロン・モードで実行するための Mobile サーバーの構成

開発マシンで Mobile サーバーを実行する場合などに、Mobile サーバーを Oracle9iAS を使用せずに起動できます。**webtogo** プログラムを実行すると、Mobile サーバーをスタンドアロン・モードで起動できます。Mobile サーバーのインストール後、次のコマンドを入力して Mobile サーバーを起動します。

```
>webtogo
```

(サーブレットの実行時に問題が発生し、) Mobile サーバーをサーブレット・デバッグ・モードで起動する必要がある場合は、コマンドラインで次のコマンドを入力します。

```
>webtogo -d
```

(サーバーおよび **webtogo.ora** ファイルに問題が発生し、) Mobile サーバーをトータル・デバッグ・モードで起動する必要がある場合は、次のコマンドを入力します。

```
>webtogo -d0
```

2.2 Mobile サーバーの実行

Mobile サーバーを実行するには、管理者が最初に Oracle9iAS、Apache Server または **webtogo** プログラム（スタンドアロン・モード）を起動する必要があります。Mobile サーバーの起動方法は、システム構成により異なります。Mobile サーバーの構成には、次の3つの使用例があります。

- **使用例 A:** Oracle9iAS でモジュールとして Mobile サーバーを構成した場合、Mobile サーバーは Oracle9iAS と同時に起動します。
- **使用例 B:** Apache でモジュールとして Mobile サーバーを構成した場合、Mobile サーバーは Apache Server と同時に起動します。
- **使用例 C:** スタンドアロン・モードを選択した場合、Mobile サーバーを手動で起動する必要があります。Mobile サーバーを手動で起動するには、コマンドラインから **webtogo** を実行するか、またはデフォルトで次のディレクトリにある **Web-to-Go** 実行可能ファイルを実行します。

```
<ORACLE_HOME>%mobile%server%bin
```

使用例 A での Mobile サーバーの実行

使用例 A で Mobile サーバーを実行するには、Mobile サーバーをインストールした `<ORACLE_HOME>` ディレクトリを確認します。マシンに Oracle9iAS リリース 2 以上がインストールされている場合、Oracle9iAS がインストールされている `<ORACLE_HOME>` ディレクトリに Mobile サーバーをインストールすることをお勧めします。これにより、マシンにインストールされている Required Support Files のコピーが重複するのを回避できます。

異なる `<ORACLE_HOME>` ディレクトリに Mobile サーバーおよび Oracle9iAS をインストールした場合、Oracle9iAS がインストールされている

`<ORACLE_HOME>%network%admin` ディレクトリに格納されている **tnsnames.ora** ファイルを編集し、第 1 章「インストール」の 1.2.1.2 項「Oracle9iAS 用の Mobile サーバー・モジュールの使用」で説明するファイルに WEBTOGO.WORLD 用のエントリを追加する必要があります。

tnsnames.ora ファイルに WEBTOGO.WORLD 用のエントリを作成しない場合、Oracle9iAS から Mobile サーバーを実行しようとする、Oracle9iAS が **tnsnames.ora** ファイルの WEBTOGO.WORLD エントリを見つけられず、その結果 Mobile サーバーが失敗します。

Mobile サーバー・リスナー

Mobile サーバーの起動時に、Mobile サーバー・リスナーが実行されます。リスナーの実行後、Mobile サーバーは Mobile サーバー・リポジトリに接続します。

2.2.1 Mobile サーバー・リポジトリへの接続

Mobile サーバーは、**webtogo.ora** ファイルに暗号化された形式で保存されたリポジトリのユーザー名とパスワードを使用して、自動的にリポジトリに接続します。

ユーザー名とパスワードが存在しないために、Mobile サーバーが自動的にリポジトリに接続されない使用例が 2 つあります。

- 使用例 1: 管理者が既存のリポジトリを保存する必要があった場合、またはインストール時に検出された既存のリポジトリが最新バージョンであったため、新しいリポジトリがインストールまたは移行されなかった場合、Mobile サーバーが新しいリポジトリをインストールせずにインストールされた。
- 使用例 2: 管理者が、**webtogo.ora** ファイルの暗号化されたユーザー名とパスワードを削除した。

前述の使用例で、管理者は Mobile サーバーにログインする必要があります。

Mobile サーバーの起動後、ご使用のブラウザで次の URL を入力して、Mobile サーバーにログインできます。

```
http://<Mobile_Server_name>:<port_number>/webtogo/startup
```

Mobile サーバー・リポジトリにユーザー名とパスワードを指定します。ログインにより Mobile サーバーが Mobile サーバー・リポジトリに接続されます。ログイン後、「保存」リンクをクリックしてリポジトリのユーザー名とパスワードを保存します。

Mobile サーバーが自動的にリポジトリに接続するため、Mobile サーバーへの接続が不要な使用例は、次のとおりです。

- 使用例 1: 最新バージョン以外の既存のリポジトリがあります。Mobile サーバーのインストール中に、以前のリポジトリが移行および更新されます。
- 使用例 2: 既存のリポジトリはありません。Mobile サーバーのインストール中に、新しいリポジトリがインストールされます。

2.2.2 Mobile サーバーの管理

Mobile サーバーを使用すると、管理者はリポジトリのユーザー名とパスワードを管理できます。また、管理者は **webtogo.ora** ファイルにリポジトリのユーザー名とパスワードを暗号化された形式で保存して、Mobile サーバーの自動開始機能を使用することもできます。さらに、管理者は Mobile サーバー・リポジトリのパスワードを変更することもできます。

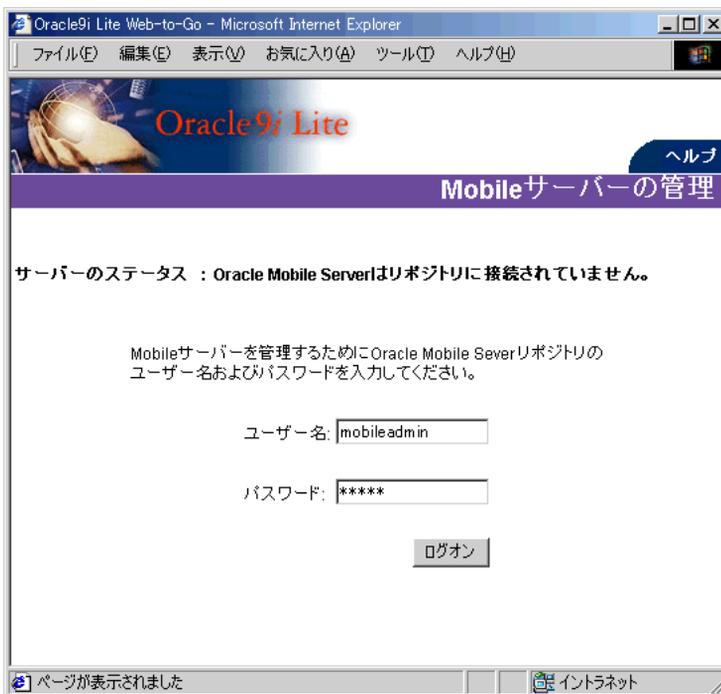
次の手順で、Mobile サーバーにログインします。

1. Mobile サーバー・リスナーを起動します。
2. 次の URL に接続します。

```
http://<Mobile_Server_name>:<port_number>/webtogo/startup
```

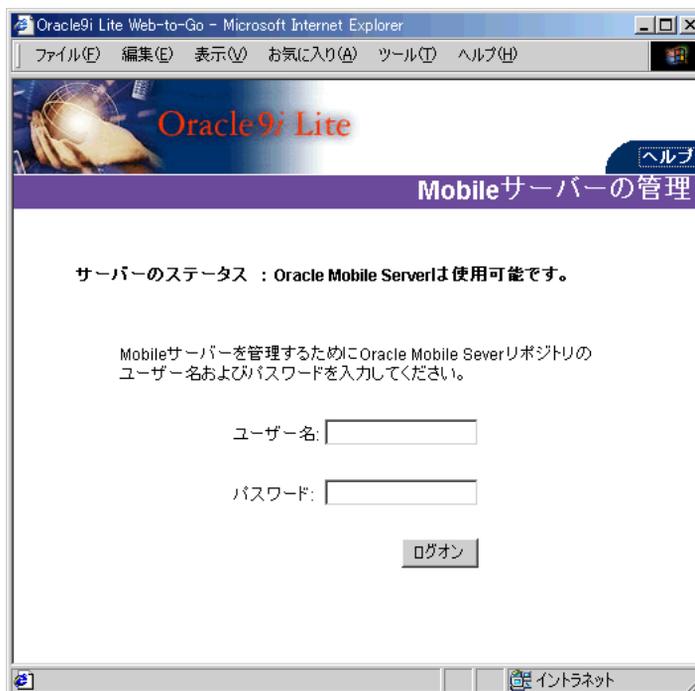
Mobile サーバーが実行中でない場合は、[図 2-1](#) に示すログオン画面が表示されます。

図 2-1 ログオン画面



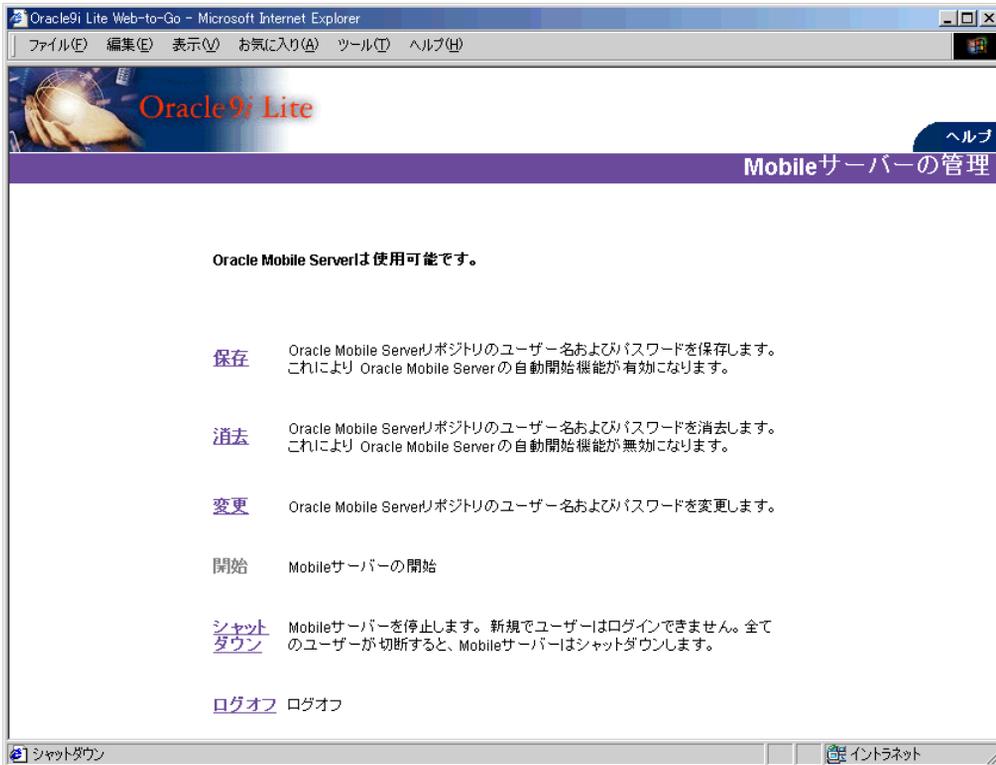
3. Mobile サーバー・リポジトリのユーザー名とパスワード（インストール・プロセスの冒頭に指定したスキーマ名およびパスワードと同じもの）を入力します。

図 2-2 無効なパスワード画面



4. 「開始」をクリックします。パスワードが無効な場合、[図 2-2](#) に示す画面が表示されます。管理者は「ログオン」をクリックしてから、再度ユーザー名とパスワードを入力できます。ログオンに成功すると、メニュー・オプション画面が表示されます。

図 2-3 メニュー・オプション画面



5. 図 2-3 に示すオプションのいずれかを選択します。

- **保存** : **webtogo.ora** ファイルに Mobile サーバー・リポジトリのユーザー名とパスワードを暗号化された形式で保存します。これにより、Mobile サーバーの自動開始機能が有効になります。この機能を使用可能にすると、次回、Mobile サーバーを起動または再起動したときに、Mobile サーバーが自動的にリポジトリに接続されます。この機能を使用可能にしない場合、Mobile サーバーを起動または再起動するたびに、Mobile サーバーにログインして、起動処理を実行する必要があります。
- **消去** : **webtogo.ora** ファイルから Mobile サーバー・リポジトリのユーザー名とパスワードを削除します。これにより、Mobile サーバーの自動開始機能が無効になります。
- **変更** : Mobile サーバー・リポジトリのパスワードを変更します。また、**webtogo.ora** の Mobile サーバー・リポジトリのパスワードを上書きします。詳細は、2.2.3 項「Mobile サーバー・リポジトリのパスワードの変更」を参照してください。

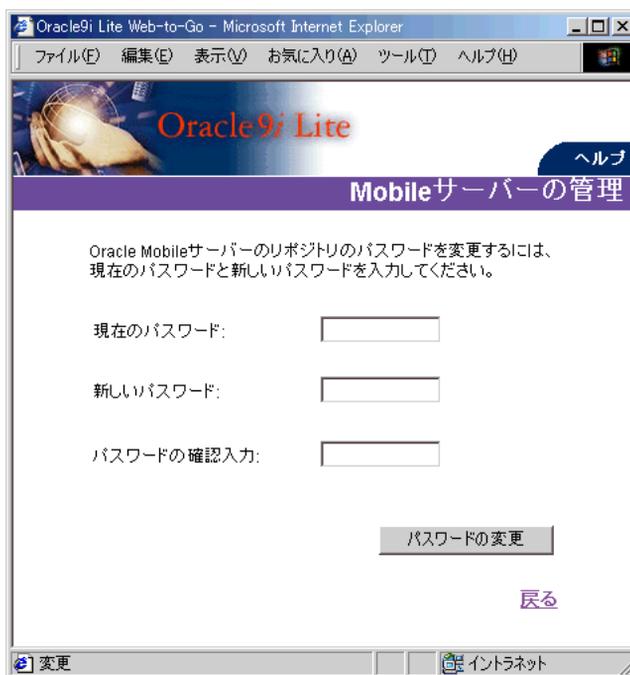
- **開始**：Mobile サーバーが実行中の場合、このオプションは無効です。Mobile サーバーが実行中でないか、セッションを終了している場合、このオプションを使用して Mobile サーバーを起動できます。
- **シャットダウン**：現行の Mobile サーバー・セッションを終了します。これにより、接続ユーザーの接続は保持され同期が取られますが、新しく接続することはできません。詳細は、2.2.4 項「[Mobile サーバーの停止](#)」を参照してください。
- **ログオフ**：現行ユーザーをログオフして、「ログオン」画面を表示します。

2.2.3 Mobile サーバー・リポジトリのパスワードの変更

次の手順で、Mobile サーバー・リポジトリのパスワードを変更します。

1. メニュー・オプション画面で、「変更」をクリックします。図 2-4 に示すパスワードの変更画面が表示されます。

図 2-4 パスワードの変更画面



2. 「現在のパスワード」フィールドに、現在のパスワードを入力します。

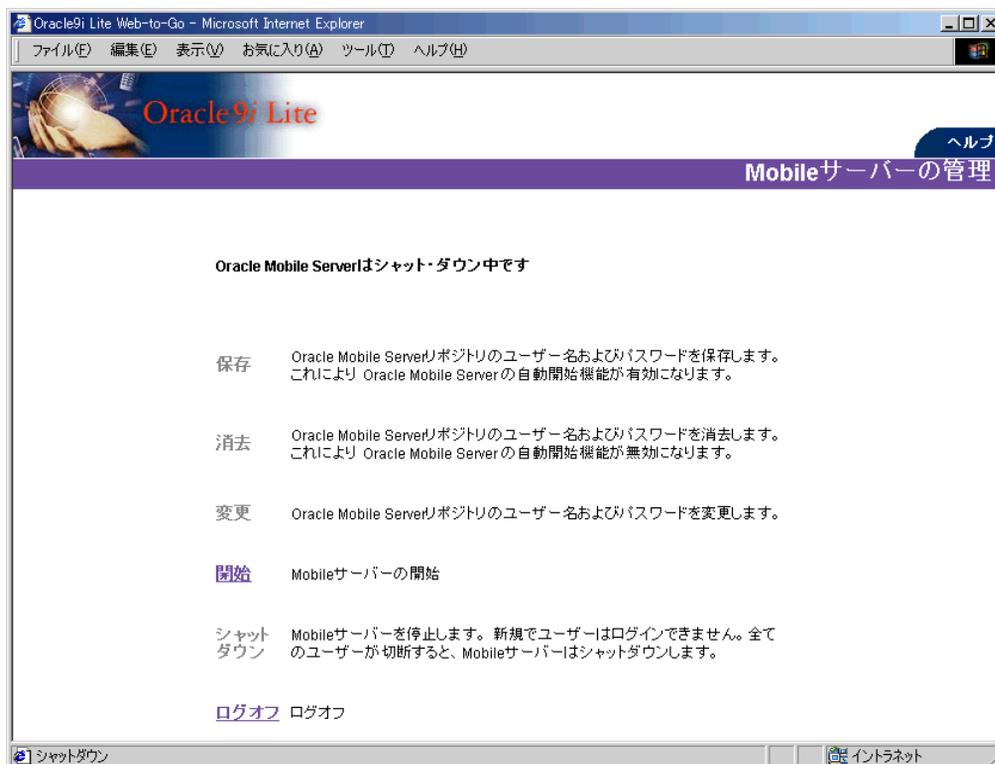
3. 「新しいパスワード」と「パスワードの確認入力」の両方のフィールドに、新しいパスワードを入力します。
4. 「パスワードの変更」をクリックして、Mobile サーバー・リポジトリのパスワードを変更します。これで、旧パスワードが新しいパスワードで上書きされます。

2.2.4 Mobile サーバーの停止

管理者は Mobile サーバーを、すでに接続中のユーザーを接続させたまま、通常どおりに同期できる状態に移行することができます（ただし、ユーザーによる新たなログオンは許可されません）。接続している最後のユーザーがログオフすると、Mobile サーバーのインスタンスは終了します。これを Mobile サーバーの終了と呼びます。次の手順で、Mobile サーバー・セッションを終了します。

1.  2-3 で示すメニュー・オプション画面で「シャットダウン」を選択します。

図 2-5 Mobile サーバー終了時のメニュー・オプション画面



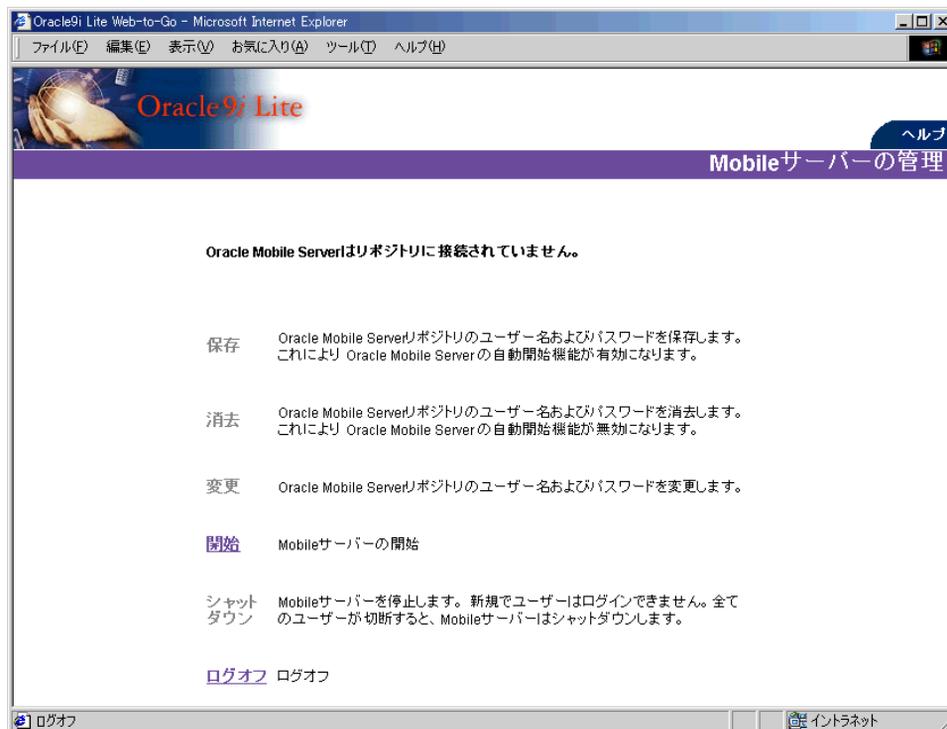
2. ユーザーが Mobile サーバーに接続されている場合、[図 2-5](#) に示す画面が表示され、Oracle Mobile サーバーを終了中であることが示されます。「保存」、「消去」、「変更」および「シャットダウン」オプションは使用できません。「開始」オプションを選択すると、Mobile サーバー・インスタンスが透過的に再起動されます。「ログオフ」オプションを選択すると、管理者がログオフされます。

図 2-6 Mobile サーバーが終了中であることを示す画面



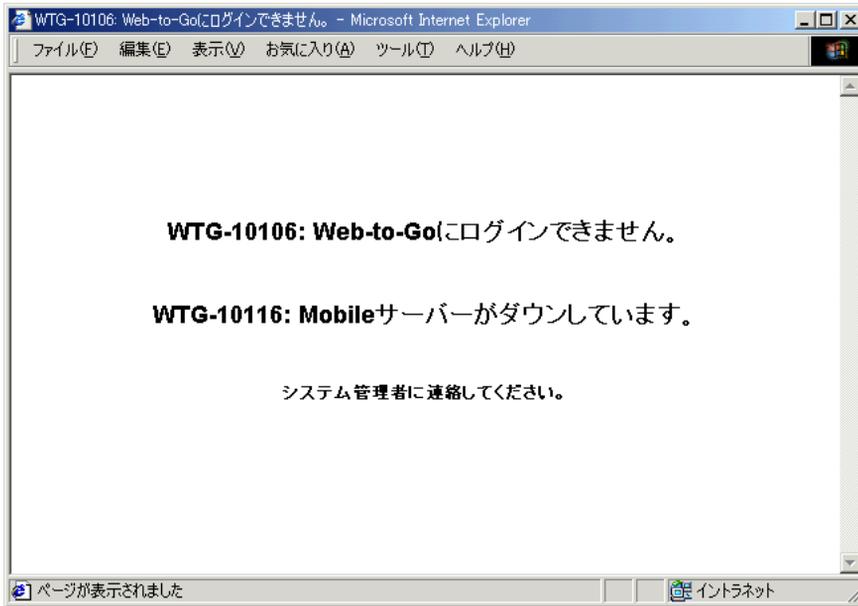
3. ユーザーが、停止中の Mobile サーバーに接続しようとする時、図 2-6 に示す画面が表示され、Mobile サーバーが終了中のため Web-to-Go にログインできないことが示されます。また、管理者への連絡を促すメッセージも表示されます。

図 2-7 Mobile サーバーが接続されていない場合のメニュー・オプション画面



4. ユーザーが接続していない場合、図 2-7 に示す画面が表示され、Oracle Mobile サーバーがリポジトリに接続されていないことが示されます。「保存」、「消去」、「変更」および「シャットダウン」オプションは使用できません。「開始」オプションを選択すると、Mobile サーバー・インスタンスが透過的に再起動されます。「ログオフ」オプションを選択すると、管理者がログオフされます。

図 2-8 Mobile サーバーが停止していることを示す画面



5. ユーザーが、停止後の Mobile サーバーに接続しようとする、図 2-8 に示す画面が表示され、Mobile サーバーが停止しているため Web-to-Go にログインできないことが示されます。また、管理者への連絡を促すメッセージも表示されます。

2.3 Mobile サーバーへのデモのインストール

instdemo バッチ・ファイルを実行して Mobile サーバーにデモをインストールできます。バッチ・ファイルは、<ORACLE_HOME>%mobile%server%samples にあります。

コマンド構文は次のとおりです。

```
instdemo [SYSTEM_password] [Admin_Username] [Admin_Username]
```

次に例を示します。

```
instdemo manager Administrator Admin
```

2.4 Mobile サーバー・リポジトリの再起動の検出

デフォルトで、Mobile サーバーは OCI9 JDBC ドライバを使用して、Mobile サーバー・リポジトリに接続します。Mobile サーバーでこのドライバを使用した場合、Mobile サーバー・

リポジトリを含む Oracle データベースが再起動されたことは検出されません。このため、データベースが再起動された場合は、Mobile サーバーを手動で再起動する必要があります。

Oracle データベースが再起動されたときに Mobile サーバーが自動的に Oracle データベースに再接続されるようにするには、Thin JDBC ドライバを使用するように Mobile サーバーを構成する必要があります。

これには、構成ファイル `webtogo.ora` の `ADMIN_JDBC_URL` パラメータを変更します。

このファイルは、`<ORACLE_HOME>%mobile%server%bin%` に格納されています。

このパラメータを次のように設定します。

```
ADMIN_JDBC_URL=jdbc:oracle:thin:@HOST_NAME:PORT:SID
```


この章では、データの移行方法、およびソフトウェアを Oracle9i Lite の以前のバージョンから新しいバージョンにアップグレードする方法について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 3.1 項「移行またはアップグレードのためのエンティティ」
- 3.2 項「サポートされている移行またはアップグレード」
- 3.3 項「手動による Mobile サーバー・リポジトリの移行」
- 3.4 項「既存ファイル・システムへのアプリケーション・ファイルの移行」
- 3.5 項「Oracle Internet Directory (OID) へのユーザーの移行」
- 3.6 項「移行でのトラブルシューティング」

3.1 移行またはアップグレードのためのエンティティ

移行とアップグレードは、2つの異なる処理を意味しています。これら2つの用語の定義は、次のとおりです。

- **移行**: データおよびレプリケーション・オブジェクトを、Oracle9i Lite の以前のバージョンから新しいバージョンに変換すること。
- **アップグレード**: ライブラリ、実行可能ファイル、DLL ファイルおよびその他のソフトウェア・コンポーネントを、Oracle9i Lite の以前のバージョンから新しいバージョンにアップグレードすること。

移行またはアップグレード（あるいはその両方）を実行するためのエンティティは、次のとおりです。

1. ソフトウェア・ライブラリ: Oracle が作成および所有しているソフトウェア・ライブラリ
2. アプリケーション・ライブラリ: カスタム書込みアプリケーション・コード
3. アプリケーション・データ: CUSTOMER 表などの特定のアプリケーションで使用されているデータ
4. レプリケーション・オブジェクト: RefreshGroup、MasterGroup、PublicationItem、Subscription などのリポジトリ・オブジェクト

3.2 サポートされている移行またはアップグレード

表 3-1 に、Oracle9i Lite の以前のバージョンから新しいバージョンへの移行パスについて示します。

表 3-1 移行パス

移行元のバージョン	移行先の Oracle8i Lite リリース 4.0.0.x	移行先の Oracle8i Lite リリース 4.0.1.x	移行先の Oracle9i Lite リリース 5.0.0.6	移行先の Oracle9i Lite リリース 5.0.1.x	移行先の Oracle9i Lite リリース 5.0.2.x
4.0.0.x	該当なし	×	○	○	×
4.0.1.x	該当なし	該当なし	○	○	×
5.0.0.6	該当なし	該当なし	該当なし	○	○
5.0.1.x	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	○

3.3 手動による Mobile サーバー・リポジトリの移行

Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードを使用して、以前のバージョンのリポジトリをリリース 5.0.2 の Mobile サーバー・リポジトリに移行します。

リポジトリ・ウィザードは、Mobile サーバーのインストールの最終フェーズで起動されま
す。第 1 章「インストール」の 1.2.3 項「Mobile サーバーのインストール」を参照してくだ
さい。Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードでは、データベースに対し、以前にインス
トールされた Mobile サーバー・リポジトリのバージョンに関する問合せが行われます。

以前のバージョンの Mobile サーバー・リポジトリを手動で最新のバージョンに移行するに
は、次の手順を実行します。

図 3-1 リポジトリ・ウィザードのスキーマ情報画面



1. Mobile サーバーのインストール中に、自動的に Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードが起動します。Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードで、以前のバージョンのリポジトリが見つかった場合は、図 3-1 に示すダイアログ・ボックスが表示され、既存のリポジトリのスキーマ名と、Web-to-Go および Consolidator のバージョン番号が示されます。

Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードにより複数のリポジトリ・スキーマが見つかった場合、オプションとして、Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードで、最新

バージョンの Mobile サーバー・リポジトリへ移行する、リポジトリ・スキーマを選択できます。

最新バージョンの Mobile サーバー・リポジトリへ移行するスキーマを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。Mobile サーバー・リポジトリの情報を「スキーマ名」および「パスワード」フィールドに入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

図 3-2 リポジトリ・ウィザードのスキーマの要約画面



2. 図 3-2 に示す、スキーマ名および既存のリポジトリを示す「要約」が表示されます。ダイアログ・ボックスには、この時点で Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザードによって実行される動作についても、「動作: リポジトリは移行されます」という文で表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

図 3-3 リポジトリ・ウィザードの移行の進捗画面



- リポジトリが移行されます。図 3-3 に示す進捗状況が表示され、インストール、移行の手順およびそのステータスが示されます。移行が完了した後、「次へ」ボタンをクリックします。

図 3-4 リポジトリ・ウィザードの移行の完了画面



4. 「Mobile サーバー・リポジトリ・ウィザード」に、[図 3-4](#) に示すとおり、Mobile サーバー・リポジトリのインストールが完了したことが示されます。ダイアログ・ボックスに **Repository.log** ファイルのパスが表示されます。このファイルにエラーがないか確認します。「終了」をクリックしてリポジトリの移行を終了します。

3.4 既存ファイル・システムへのアプリケーション・ファイルの移行

アプリケーション・ファイルは、リリース 5.0.2 の Mobile サーバー・リポジトリに格納されていません。ただし、Mobile サーバーがインストールされているホスト・システムのハード・ドライブに、ファイルとして格納されています。移行中、Mobile サーバー・リポジトリの既存ファイルは、リポジトリから `<ORACLE_HOME>\mobile\server\repository` をルートとするホスト・システム上のディレクトリ構造に移動されます。

3.5 Oracle Internet Directory (OID) へのユーザーの移行

Oracle9iAS 上にインストールされた Mobile サーバーのインスタンスへ移行する場合、Oracle Internet Directory (OID) に存在しないユーザーを移行する必要があります。**oiduser**

と呼ばれるツールが、<ORACLE_HOME>%mobile%server%bin にあります。このツールは、ランダムに生成されたパスワード、または次の手順でユーザー定義の共通パスワードを使用して、既存の Mobile サーバーのユーザーを Mobile サーバー・リポジトリから OID に移行する場合に使用します。

1. コマンドラインで次の行を入力します。

```
oiduser <Mobile Server repository user name> <password>
```

たとえば、デフォルトの設定は次のとおりです。

```
oiduser mobileadmin manager
```

2. ランダムなパスワードを生成せずに、すべてのユーザーに固有の共通パスワードを設定するには、次の構文を使用します。

```
oiduser <Mobile Server repository user name> <password> -p <common_password>
```

<common password> には、指定するパスワードを入力します。

3. **oiduser** を実行して、ユーザーおよび手順 1 または 2 で生成したパスワードのリストを含む **user.dat** ファイルを生成します。このファイルは参照用です。Mobile サーバー・リポジトリのすべてのユーザーは、手順 1 で生成したパスワード、または手順 2 で指定したパスワードで OID に移行されています。

4. Mobile サーバーを再起動します。

3.6 移行でのトラブルシューティング

問合せでバインド変数に CHAR 列が使用されるレガシー・データを移行する場合は、データの移行前にトラブルシューティングが必要です。また、JavaServer Pages (JSP) の移行でもトラブルシューティングが必要になります。次の項では、このトラブルシューティング手順を説明します。

3.6.1 CHAR がスナップショット定義で使用されるデータの移行

CHAR 列は、表に対するスナップショット定義の SQL 文の、WHERE 句で使用しないことをお勧めします。かわりに、VARCHAR2 を使用します。それ以外の場合は、データを移行または同期することができません。

Mobile サーバー・リポジトリのパブリッシュされたスナップショット定義に、CHAR 型のバインド変数の列名が含まれている場合、データの移行前に RPAD を使用して、これらのスナップショット定義に対する SQL 問合せを変更し、変更されたスナップショット定義をパブリッシュする必要があります。パッケージ・ウィザードを使用して、スナップショット定義に対する問合せを編集します。パッケージ・ウィザードは、Windows システムにインストールしてください。パッケージ・ウィザードの使用方法については、『Oracle9i Lite for

『Web-to-Go 開発者ガイド』および『Oracle9i Lite 管理者およびデプロイ・ガイド』を参照してください。

パッケージ・ウィザードで、変更する問合せ対象の表を選択します。パッケージ・ウィザードの編集機能を使用して（スナップショット・パネルの「編集」ボタンをクリックする）、各クライアント用の適切なタブ（たとえば、「Win32」タブ、「Palm」タブなど）を選択し、各クライアント用の「スナップショットの編集」画面の SQL 問合せを変更します。各クライアントのパネルで、「クライアントで作成」チェック・ボックスを選択します。次の例に示す RPAD を使用してテンプレート・フィールドの SQL 文を変更し、「OK」をクリックします。

その後、パブリケーションを Mobile サーバー・リポジトリに戻す必要があります。

変更前の問合せの例

```
SELECT * FROM DEPT WHERE DEPT_NAME =:DEPT_NAME
```

変更後の問合せの例

```
SELECT * FROM DEPT WHERE DEPT_NAME = RPAD(:DEPT_NAME,<length of column>)
```

スナップショット定義の問合せの変更後、スナップショット定義をパブリッシュします。パブリッシュについては、『Oracle9i Lite for Web-to-Go 開発者ガイド』および『Oracle9i Lite 管理者およびデプロイ・ガイド』を参照してください。変更したスナップショット定義のパブリッシュ後に、データを移行できます。

3.6.2 JavaServer Pages (JSP) の移行

Oracle9i Lite とともに出荷される JSP ライブラリは、Oracle8i Lite に含まれているライブラリとは異なります。最も大きな変更の 1 つは、基になるサーブレット・クラス名内の JSP ページの URL の変換に使用されるアルゴリズムです。次に例を示します。

- Oracle8i Lite では、Oracle JSP 1.0.6 を使用します。
URL : ¥sample1¥page.jsp
サーブレット・クラスへのマップ : sample1.page.class
- Oracle9i Lite では、Oracle JSP 1.1.2 を使用します。
URL : ¥sample1¥page.jsp
サーブレット・クラスへのマップ : _sample1._page.class

このため、Oracle8i Lite から Oracle9i Lite に移行した後、アプリケーションで JSP ページにアクセスしようとしたときに「ClassNotFound」エラーが表示されることがあります。この問題を解決するオプションは 2 つあります。

オプション1

次の手順で、JSP ファイルを再コンパイルし、クラス・ファイルをリポジトリにコピーします（推奨）。

1. 新しい JSP ライブラリを使用して JSP ファイルを再コンパイルします。
2. シェル・ユーティリティ（**wsh**）を使用して、Mobile サーバー・リポジトリにファイルを手動でコピーします。Mobile サーバー・リポジトリ内のファイルを手動で操作する方法に関するコマンド・リストは、『Oracle9i Lite 管理者およびデプロイ・ガイド』を参照してください。

オプション2

JSP ライブラリを、Oracle8i Lite とともに出荷されたバージョンに置き換えます。

1. Mobile サーバーで 사용되는 JSP ライブラリを置き換えます。ファイル `<ORACLE_HOME>%Mobile%classes%ojsp.jar` を以前のバージョンで置き換えます。以前のバージョンは、`<ORACLE_HOME>%webtogo%bin` にインストールされています。
2. 次のように **wsh** を使用して、Web-to-Go 用 Mobile クライアントに配布されている `ojsp.jar` のバージョンを置き換えます。

```
wsh -o mobileadmin%manager@webtogo.world
cd %setup%webtogo
copy <ORACLE_HOME>%webtogo%bin%ojsp.jar ojsp.jar
sync
exit
```

